

# 日本音韻論学会春期研究発表会

日時：2014年6月6日（金） 13:30 – 18:05

場所：首都大学東京・秋葉原サテライトキャンパス 1202号室（東京都千代田区外神田  
1-18-13 秋葉原ダイビル12階）

参加費：会員 1,000円、学生会員 500円、非会員 2,000円

\*\*\*\*\*

## <プログラム>

13:30 – 13:35 開会挨拶：会長 田端敏幸（千葉大学）

セッション1 一般発表 司会：松井理直（大阪保健医療大学）

13:35 – 14:15 坂本洋子（獨協医科大学）

「日本語母語話者の英語における語彙認識に関する研究」

14:15 – 14:55 森 直哉（同志社大学大学院生）

「日本語母語話者による英語の同化音の聞き分けにおける周辺音韻  
情報の利用」

（休憩10分）

セッション2 一般発表 司会：吉田優子（同志社大学）

15:05 – 15:45 Liqun Liu (Utrecht University) & René Kager (Utrecht University)

“Understanding Phonological Acquisition through Phonetic Perception –  
the Influence of Exposure and Acoustic Salience”

15:45 – 16:25 Mark Irwin (Yamagata University) & Timothy Vance (NINJAL)

“Rendaku Across Japanese Dialects”

（休憩10分）

セッション3 学位取得者講演 司会：ティモシー・バンス（国立国語研究所）

16:35 – 17:35 高山知明（金沢大学）

「16・17世紀日本語音韻の動的諸相」【筑波大学 2012】

（休憩5分）

17:40 – 18:05 総会

閉会挨拶：副会長 田中伸一（東京大学）